

セラピーなど)、43.5%が親ガイダンス(ペアレントトレーニング)、43.3%がSST(社会スキル訓練)、40.4%が医師による精神療法であり、ペアレントトレーニングの要望が多いことが明らかとなった。また、「市町村が支援するなど安心できる団体であること」「専門職に相談できる機会」があることなどを重要だと回答する割合は40~50%あったことより、市町村保健センターあるいは市町村の子育て支援部門が、地域のNPO等ペアレントトレーニング提供組織と連携をとり、情報を収集し、協力体制を築くことが母親の参加意欲さらに高めることにつながると考える。

### 3) 市町村保健センターなどから保育所・幼稚園への情報提供に関する意向

今回の調査では、子どもの発達障害が疑われるような場合に、市町村保健センターなどから子どもの生育・発達情報などが保育所・幼稚園に情報提供されることについての母親の意向を確認した。その結果、「絶対に認めない」という回答は5%未満にとどまった。一方「条件によって認める」と回答したものが80%と大半を占め、その条件は情報提供の目的や内容を母親に開示することを希望する傾向にあった。ことから、母親が納得のいく説明を求めていることが明らかになった。

集団での活動が始まる保育所や幼稚園に通う年代で、発達障害が疑われる子どもが発見されることは少なくない。発達障害が疑われた場合には、保育所・幼稚園の教職員から保護者に専門機関の受診が勧められるが、その際に、保育士、教師が問題としてあげることにより「保護者が受診に積極的でない」「保護者が障害を認めようとしない」ということがある。そのような場合に、保育所・幼稚園ではケース検討会を持ち、子どもの対応を考えたり、

保護者の説得に当たるなどの努力を行っている。しかしながら、保護者の協力が得られない場合には、市町村保健センターなどが保有する子どもの発達情報や保護者の相談情報を入手し、できる範囲で教育・生活環境を整えることや、保護者に理解を求めるための対策を取れないかと模索することがある。

虐待などが疑われる場合には、保護者の同意を得ずに要保護児童対策地域協議会などに参加する機関間で情報を共有することができる。一方、発達障害等のある子どもに対する特別支援教育においては、学校において、学習上又は生活上の困難を克服するための指導を行う「個別の指導計画」及び他機関との連携を図るための長期的な視点に立った計画「個別の教育支援計画」を立案することとなっている。また、「個別の教育支援計画」の立案に当たっては、関係機関との連携が必要であり、保護者の参画や意見等を聴くことなどが求められている。発達障害は生活全般に困りごとが表れやすく、保育所や幼稚園、学校だけが環境を整えても子どもの困りごととは解決しにくい。保護者と連携を取り、包括的に環境を整えることが求められる。そのため、保護者が理解できるように説明をし、納得をして情報活用ができることが重要である。

今回の調査結果においては、情報提供の際に母親が同席することを希望したものは約20%であった。「個別の教育支援計画」が保護者の参画や意見を聞くことを求めていることから考えると、20%という割合は必ずしも高い割合とは言えないであろう。保育所・幼稚園に入園することは発達障害を持つ子どもにとって大きなストレスとなることも予想されるため、保護者の理解、参画を促し、子どもの生活環境を整えていくことが重要と考えられる。

今回の調査で「無条件に認める」と回答したものの自由記載に、「周囲に告知した方がそれ相応の対応をしてもらえた」「実際にアドバイスどおりにやってきて困っていたことが解消されているから」という、母親の経験から語られた肯定的な意見が複数あった。関係機関の情報共有に当たっても、保護者の理解と協力を得るための説明の努力をするとともに、情報共有する目的だけでなく、具体的なメリットや子どもに効果があった事例を挙げながら説明することが必要であろう。加えて、今回の結果では、情報の取り扱いに対して説明した文書などを求める回答も40%程度あることより、わかりやすい文書を準備しておくことも求められている。

### 3. 援助希求意向と気になる子どもの有無及び学歴についての検討

今回の調査では、情報提供の意向には気になる子どもの有無および学歴は統計的な有意差は認められなかった。しかし、子どもの困りごとと相談相手については学歴において有意差が見られ、高学歴の母親は「ママ友」などに相談する割合が低く、市町村保健センターや子育て支援センター、保育所・幼稚園の教職員に相談するという割合が高い傾向が見られた。このことは、気になる子どもがいる場合に、早く専門機関とつながりやすいことを示唆している。地域における育児にかかわる相談窓口を拡充すること、母親のほうから相談がかからない場合においても、気になる子どもがいる場合は、専門職は母親に積極的に声がけしていくとこと、母親の困り感に寄り添いながら対応や気持ちを引き出ししていくなどの配慮が必要であろう。

### 3-9) 第73回日本公衆衛生学会学術総会 自由集会知ろう・語ろう・考えよう!“一歩先行く”健やか親子21第14回報告～地域診断と新しい母子保健計画の作り方を学ぼう!!～

今回の自由集会は、これまでの「健やか親子21」の集大成として、またこれから始まる新たな計画に向けて、大変有意義な内容であった。また、参加者も熱心に講義を聞き、活発なディスカッションがされた。また、「健やか親子21(第2次)」の周知のため、本学術総会のブース展示において、掲示による情報提供も行った。

今回の自由集会の内容が、各地方自治体で策定する母子保健計画や、母子保健事業の更なる推進の一助となることを期待する。

今回で「健やか親子21」についての自由集会は一区切りとなった。今後、「健やか親子21(第2次)」についての自由集会を行っていくかは未定であるが、自由集会以外でも、本研究班は積極的に「健やか親子21(第2次)」の周知・推進のために情報を発信していく必要があると考える。

## D. 結論

1. 健やか親子21(第2次)の指標に関するベースライン値設定のための追加調査を行い、調査結果を国の検討会へ提出した。ベースライン値および目標値が新しく設定されたもの、また再設定された指標は、基盤課題A:15指標(5つの参考指標を含む)、基盤課題B:8指標(4つの参考指標を含む)、基盤課題C:8指標(1つの参考指標を含む)、重点課題①:4指標、重点課題②:10指標であった。今後は「健やか親子21(第2次)」の推進および、母子保健分野のより一層の発展のために、母

子保健情報の利活用の仕組みの充実と母子保健事業への新たなシステムの提供を進めていく。

2. 健やか親子21のホームページは、母子保健に関する有用情報の提供を含め適切に運営され、14年間で88万件を超えるアクセス数を得ている。取り組みのデータベースは、全国の事業を参照しながら事業計画を立案するためのツールとして活用されている。また、母子保健・医療情報データベースは、専門職における利用度の高いツールとして好評を得ている。そして、健やか親子21(第2次)の新ホームページを作成し、平成27年度からも現行の各ツールを維持すること、また母子保健情報システムの市町村版を作成し、ホームページ上から当システムのダウンロードが可能となる準備ができた。
3. 母子保健情報の利活用では、母子手帳・妊婦健診・乳幼児健診などの連結データの活用から、幼児の健康状況や家族の生活習慣の市町差異、ハイリスク母児への早期発見に関する情報収集・介入方法の示唆を与える課題を抽出できた。また、健やか親子21(第2次)に関する県型保健所の目標設定とその達成に対する課題の抽出、子どもの発達障害を懸念したり、育てにくさを感じている母親の援助希求の意向内容が把握できた。

## E. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) Yoshio Matsuda, Hikaru Umezaki, Masaki Ogawa, Michitaka Ohwada, Shoji Satoh, Akihito Nakai. Umbilical arterial pH in patients with cerebral palsy. *Early Human Development* 2014 90:131-135
- 2) Yoshio Matsuda, Masaki Ogawa, Jun Konno. Prognosis of the babies born from placental abruption - difference between intrauterine fetal death and live-born infants *Gynecol Obstet (Sunnyvale)* 2014;4 (1) , pp.1000191
- 3) Toru Sugiyama, Yoshio Matsuda, Masaki Ogawa et al. A retrospective multi-institutional study of treatment for mild gestational diabetes in Japan. *Diabetes research and clinical practice* 2014;103 (3) :412-8
- 4) Masaki Ogawa, Yoshio Matsuda, Aiko Kobayashi, Minoru Mitani, Yasuo Makino, Hideo Matsui. Plasma antithrombin levels correlate with albumin and total protein in gestational hypertension and preeclampsia. *Pregnancy Hypertension: An International Journal of Women's Cardiovascular Health* 2014;4 (2) :174-177
- 5) Nakayama S, Ishii K, Kawaguchi H, Yamamoto R, Murata M, Hayashi S, Mitsuda N. Perinatal complications of monochorionic diamniotic twin gestations with discordant crown-rump length determined at mid-first trimester. *J Obstet Gynaecol Res.* 2014;40 (2) :418-23.
- 6) Murata M, Ishii K, Taguchi T, Mabuchi A, Kawaguchi H, Yamamoto R, Hayashi S, Mitsuda N. The prevalence and clinical features of twin-twin transfusion syndrome with onset during the third trimester. *J Perinat Med.* 2014;42 (1) :93-8.
- 7) Hideaki Masuzaki, Nobuya Unno, Yoshio Matsuda, Masao Nakabayashi, Satoru

- Takeda, Nobuaki Mitsuda, Junichi Sugawara, Toshiyuki Yoshizato and Atsushi Yoshida Annual report of Perinatology Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2013: Development of Perinatal Emergency Care Systems and Suggestions JOGR 2014;40:335
- 8) 松田義雄 周産期の臨床研究をいかに進めていくかー常位胎盤早期剥離の解析を中心にー 日本周産期・新生児医学会雑誌 2014 ; 50 : 1208-1211
- 9) 松田義雄 妊婦とtoxic shock syndrome 周産期感染症2014 周産期医学 2014;44 巻増刊号 : 135-139
- 10) 小川正樹 病院前救護のための産科救急トレーニングー妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法 (翻訳) 平成 26 年 3 月 中外医学社 110-130
- 11) 小川正樹、松田義雄 特定妊婦の把握に必要な医療情報に対する医療側と自治体側との意識の相違 周産期医学 2014;44 (6) :855-859
- 12) 小川正樹 早産期発症の常位胎盤早期剥離における予後不良因子に関する検討 周産期学シンポジウム抄録集 2014;32:123-127
- 13) 小川正樹、松田義雄 管理法はどう変わったか? :温故知新 産科編 出生前ステロイド投与の変遷 周産期医学 2014;44 (3) :327-330
- 14) 小川正樹、松田義雄 妊娠高血圧症候群 UPDATE 硫酸マグネシウム製剤 周産期医学 2014;44 (11) :1493-1496
- 15) 菊地 菜美, 川口 晴菜 保健指導で見せて使えるシート付き 妊婦さんに説明できる!妊娠期の異常徴候 早産・切迫早産を説明しよう!ペリネイタルケ 2014;33 (8) : 764-767
- 16) 馬淵 亜希, 石井 桂介, 田口 貴子, 川口 晴菜, 山本 亮, 村田 将春, 林 周作, 光田 信明 双胎の経膈分娩における新生児合併症の頻度とリスク因子の検討 日本周産期・新生児医学会雑誌 2014;50 (1) :278-284
- ## 2. 学会発表
- 1) 山縣然太郎. 特別講演「健やか親子21の評価と今後の取り組み」. 第61回日本母性看護学会学術集会. 2014年6月. 京都.
- 2) 山縣然太郎. シンポジウム 18「次期健やか親子21を踏まえた母子保健計画の策定について」(座長):わが国の母子保健の健康格差の現状(シンポジスト). 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 3) 山縣然太郎. 基調講演「健やか親子21(第2次)が目指すもの」(シンポジウム 第I部において). 平成26年度 健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会). 2014年11月. 愛媛県.
- 4) 山縣然太郎, 山崎嘉久. 子どもの健康格差の実態ー健やか親子21の最終評価からー. 第117回日本小児科学会. 2014年4月. 愛知県.
- 5) 山崎嘉久, 山縣然太郎. 健やか親子21の評価からみた21世紀の我が国の母子保健の現状と課題. 第117回日本小児科学会. 2014年4月. 愛知県.
- 6) 山縣然太郎, 篠原亮次, 秋山有佳. 次子出産希望は妊娠育児中の夫の支援が必要ー子育て支援のための労働環境のあり方ー. 第87回日本産業衛生学会. 2014年5月. 岡山県.

- 7) 秋山有佳, 篠原亮次, 市川香織, 尾島俊之, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太郎. 妊娠中の母親の喫煙状況別に見た児の出生体重平均の相違～健やか親子21最終評価の全国調査より～. 第61回日本小児保健協会学術集会. 2014年6月. 福島県.
- 8) 篠原亮次, 秋山有佳, 市川香織, 尾島俊介, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太郎. 母子保健における妊娠・出産満足尺度の作成ー健やか親子21最終評価の調査データ解析ー. 第61回日本小児保健協会学術集会. 2014年6月. 福島県.
- 9) 山縣然太郎, 尾島俊之. 地域診断と新しい母子保健計画の作り方を学ぼう!!～知ろう・語ろう・考えよう!“一歩先行く”健やか親子21(自由集会). 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 10) 秋山有佳, 篠原亮次, 元木愛理, 市川香織, 尾島俊之, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太郎. 妊娠・育児期の母親を取り巻く環境の都道府県格差-健やか親子21データから-. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 11) 元木愛理, 篠原亮次, 秋山有佳, 市川香織, 尾島俊之, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太郎. 妊娠・育児期の母親を取り巻く環境の人口規模別比較-健やか親子21データから-. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 12) 山縣然太郎. 健やか親子21の最終評価からみた徳島県の母子保健について. 平成26年度第1回母子保健研修会(徳島県). 2014年6月. 徳島県.
- 13) 山縣然太郎. 健やか親子21の最終評価からみた徳島県の母子保健について. 平成26年度 医療費適正化に向けた研修会I. 2014年7月. 三重県.
- 14) 山縣然太郎. 自治体で“どう取り組む?”「健やか親子21」の最終評価と次期計画の策定の実際の進め方について. 「健やか親子21(第2次)」計画づくり研修. 2014年9月. 国立保健医療科学院(埼玉県和光市).
- 15) 山縣然太郎. 「健やか親子21との連携」の進め方(セッション2). 「健康日本21(第二次)の推進」に関する実践マニュアル研修会. 2014年12月. 東京都.
- 16) 田中久子, 澤田樹美, 瀧本秀美, 原田正平. 肥満児に対する父子介入プログラムの有効性評価: 無作為化比較試験の研究プロトコル. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 17) 佐々木溪円, 浅井洋代, 新見志帆, 森智子, 山崎嘉久. 乳幼児健診の共通問診項目を用いた自治体間格差の分析方法. 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 18) 山崎嘉久他: 乳幼児健診の共通問診項目の利活用～生活習慣の縦断データの分析手法について～日本小児保健協会第62回学術集会. 2015年6月(予定). 長崎県.
- 19) 荒木田美香子, 奥野裕子, 毛利栄子. 発達障害児の親へのペアレントトレーニング. 日本家族看護学会学術集会. 2014年. 岡山県.
- 20) 荒木田美香子, 竹中香名子, 高橋佐和子. 幼稚園・保育所と地域保健との連携を促すための資料集の作成. 2014年. 金沢.
- F. 知的財産権の出願・登録状況  
なし

## Ⅱ . 分担研究報告書

## 「健やか親子21（第2次）」の指標値設定の経過

### および地方自治体への周知・啓発に関する報告

研究代表者 山縣 然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）  
研究分担者 松浦 賢長（福岡県立大学看護学部ヘルスプロモーション看護学系）  
研究分担者 山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）  
研究分担者 尾島 俊之（浜松医科大学医学部健康社会医学講座）  
研究分担者 玉腰 浩司（名古屋大学医学部保健学科看護学専攻）  
研究協力者 市川 香織（文京学院大学保健医療技術学部看護学科）  
研究協力者 篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部医学域附属出生コホート研究センター）  
研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院医学工学総合教育部社会医学講座）

平成26年度で「健やか親子21」は終了となり、平成27年度より新たに「健やか親子21（第2次）」が始まる。第2次の指標のベースライン値および目標値は、基本的に国が公表している既存の調査データおよび「健やか親子21」最終評価から検討してきたが、いくつかの指標に関しては新たに調査を実施する必要があった。そこで、新指標に関するベースライン調査および分析を行い、目標を設定し、「健やか親子21（第2次）」の策定に資することを目的とした。

本研究班で実施した第2次計画の指標に関するベースライン値設定のための追加調査、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課調査、内閣府の母子保健に関する世論調査等の結果を参考にして各指標の再検討を行った。結果、ベースライン値および目標値が新しく設定されたもの、また、再設定された指標は、基盤課題A：15指標（5つの参考指標を含む）、基盤課題B：8指標（4つの参考指標を含む）、基盤課題C：8指標（1つの参考指標を含む）、重点課題①：4指標、重点課題②：10指標であった。

また、本年度は、厚生労働省から各地方自治体に母子保健計画策定指針が示され、各地方自治体は母子保健計画の策定が求められることとなった。そのため、地方自治体の母子保健担当者への、「健やか親子21」の最終評価および第2次計画の進め方について、基本的な考え方や地域分析の方法等を周知する必要があり、全国でブロック研修会を実施した。

来年度からは、「健やか親子21（第2次）」が新たに始まることとなる。本研究班では、今後は「健やか親子21（第2次）」の推進および、母子保健分野のより一層の発展のために、母子保健情報の利活用の仕組みの充実と母子保健事業への新たなシステムの提供を進めていく予定である。

#### A. 目的

平成26年度で「健やか親子21」は終了となり、平成27年度より新たに「健やか親子21（第2次）」が始まる。昨年度、本研究班で

は最終評価から得られた結果を踏まえ、第2次の指標の選定等を行ってきた。本年度は、選定された指標のベースライン値および目標値の検討、設定を行うこととしていた。第2次の指

標のベースライン値および目標値は基本的に国が公表している既存の調査データおよび「健やか親子21」最終評価から検討してきたが、いくつかの指標に関しては新たに調査を実施する必要があった。そこで、新指標に関するベースライン調査および分析を行い、目標を設定し、「健やか親子21（第2次）」に資することを目的とした。

本稿では「健やか親子21（第2次）」の指標、ベースライン値および目標値の設定に向けた研究班による検討会議、調査方法、分析結果、各地方自治体への結果送付の方法や実作業の状況等に関する経過報告を行う。

さらに、本年度は「健やか親子21」最終評価・第2次計画の周知を図るため、全国でブロック別の研修会を行うこととした。よって、本稿では『「健やか親子21」最終評価・次期計画研修会』への研究班員の参加状況についても報告を行う。

## B. 方法

### 1. 健やか親子21（第2次）の指標と追加調査に関する検討会議

平成26年度は、研究班全体の会議（班会議）を2回、ワーキンググループ会議（WG会議）を2回開催した。班会議においては、今年度の全体的な研究班の研究計画内容や方向性の決定、また各研究分担者（研究協力者）から研究進捗状況の報告や討議等を行い、研究分担者間の情報共有と研究班全体の調整を図った。一方、WG会議においては、班全体の研究の方向性、第2次の指標の調査方法、追加調査、データ解析、評価等の詳細な検討および討議を行った。各会議実施の日程は次の通りであった。

#### 【班会議】

第1回班会議：平成26年5月23日（金）

（時間：18：00～21：00 場所：東京）  
第2回班会議：平成27年2月6日（金）

（時間：18：00～21：00 場所：東京）

#### 【WG会議】

第1回WG会議：平成26年4月25日（金）

（時間：18：00～21：00 場所：東京）

第2回WG会議：平成26年9月19日（金）

（時間：18：00～21：00 場所：東京）

#### 【研究代表等と厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課との打ち合わせ】

第1回打ち合わせ：平成26年6月19日（木）

（時間：10：00～12：00 場所：厚生労働省）

第2回打ち合わせ：平成26年10月7日（火）

（時間：14：00～16：00 場所：厚生労働省）

第3回打ち合わせ：平成26年12月5日（金）

（時間：14：00～16：00 場所：厚生労働省）

第4回打ち合わせ：平成26年12月15日（月）

（時間：15：30～17：00 場所：厚生労働省）

班会議、WG会議および研究代表等と厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課との打ち合わせで検討し作成した資料を国の検討会（「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会）等に提出した。検討会および推進協議会総会の日程は、以下の通りであった。

#### 【「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会】

第10回検討会：平成26年10月24日（金）

（時間：14：30～17：30 場所：厚生労働省）

議題：・次期計画における指標および目標等の設定について

・次期計画における推進体制について

・その他

#### 【健やか親子21推進協議会総会】

第14回：平成26年12月2日（火）



(時間：13：00～17：00)

場所：三田共用会議所

- 議題：・健やか親子21推進協議会参加団体からの活動報告  
～14年間を振り返って～  
・「健やか親子21（第2次）」について  
・「健やか親子21」研究報告  
・その他

## 2. 「健やか親子21（第2次）」のための追加調査の対象市区町村の調査実施方法の検討

追加調査の対象市区町村は、昨年度最終評価を実施した市区町村を基本とし、調査協力が困難と回答した市区町村があった場合は、同都道府県内の同規模の市区町村から代替市区町村を選定することとした。

## 3. 「健やか親子21（第2次）」の指標のベースライン値および目標値の設定について

ベースライン値および目標値が設定されていない指標について、本研究班が実施した「健やか親子21（第2次）」のための実態調査、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課調査、内閣府の母子保健に関する世論調査等の結果から値を検討し、設定した。また、その他の指標の値についても再検討し、課題ごとに目標シートを作成した（資料1-1）。

## 4. 『「健やか親子21」最終評価・次期計画研修会～全国ブロック研修会～』について

本年度は、平成26年6月17日付で厚生労働省から各地方自治体に母子保健計画策定指針が示され、母子保健計画の見直しおよび策定が求められることとなった。これにより、各地方自治体は各々の母子保健計画の策定が必要となるため、地方自治体の母子保健担当者への、

健やか親子21の最終評価および第2次計画の進め方について、基本的な考え方や地域分析の方法等を周知する必要があると考えられた。

研修会は社会福祉法人恩賜財団母子愛育会が主催し、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課による「健やか親子21」の最終評価および第2次についての講義、研究班員による最終評価方法の講義、ヘルスプロモーション研究センターによる地域診断の方法等の講義を行うこととした。以下に予定された日程および内容を示す（資料1-2）。

### 【日程】

#### ・北海道・東北ブロック

日時：平成26年6月4日（水）～5日（木）

場所：東北エレクトロンホール宮城

研究班担当者：篠原 亮次（山梨大学）

#### ・関東ブロック

日時：平成26年6月19日（木）～20日（金）

場所：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

研究担当者：山縣 然太朗（山梨大学）

#### ・中部ブロック

日時：平成26年7月8日（火）～9日（水）

場所：名古屋国際センター

研究班担当者：尾島 俊之（浜松医科大学）

#### ・近畿ブロック

日時：平成26年6月12日（木）～13日（金）

場所：エル大阪

研究班担当者：篠原 亮次（山梨大学）

#### ・中国・四国ブロック

日時：平成26年6月26日（木）～27日（金）

場所：岡山コンベンションセンター

研究班担当者：山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

#### ・九州・沖縄ブロック

日時：平成26年7月22日（火）～23日（水）

場所：博多バスターミナル

研究班担当者：松浦 賢長（福岡県立大学）

### 【内容（予定）】

#### 《1日目》

講義①：「健やか親子21」の最終評価および次期計画について

講義②：「健やか親子21」について各自治体でも最終評価をしてみよう（理論編）（研究班担当）

情報提供：新たな小児慢性特定疾病対策について

#### 《2日目》

講義③：地域特性に応じた地域診断の進め方

講義④：コミュニティ アズ パートナーモデルの活用

グループワーク：最終評価と地域診断を体験してみよう（実践編）

講義⑤：課題の優先順位の付け方

### （倫理面への配慮）

質問票は、無記名であり、ID も存在せず個人識別は不可能となっている。データの解析や結果の公表に関しては、山梨大学医学部倫理委員会の承認を得ている（受付番号：1119）。

## C. 結果

### 1. 班会議検討結果

#### 1) 第1回班会議検討結果

- (1) 「健やか親子21（第2次）」の指標、目標値に関する進捗状況の報告
- (2) 追加調査の実施計画の検討
- (3) 各研究分担者の本年度の研究課題についての検討

#### 2) 第2回班会議検討結果

- (1) 追加調査を終えて、「健やか親子21（第2次）」の新たな決定事項の報告
- (2) 各分担研究者の研究状況の報告
- (3) 次年度の研究計画についての検討

## 2. WG会議検討結果

### 1) 第1回WG会議検討結果

#### (1) 追加調査のスケジュールの検討

- ・平成26年4月 調査票作成・印刷
- ・平成26年5月上旬 調査票発送
- ・平成26年5月中旬～7月上旬 調査実施・回収
- ・平成26年6月～8月 順次実施済み調査票を回収・入力し、集計を実施
- ・平成26年8月 結果の報告
- ・平成26年度中（平成27年3月末） 協力市区町村への結果の送付

#### (2) 調査項目および設問、回答項目の検討

#### (3) 母子保健に関する世論調査の設問、回答項目の検討

### 2) 第2回WG会議検討結果

#### (1) 指標のベースライン値、目標値の検討

- ・追加調査の暫定値を用い、算出方法やおおよその目標値等を検討。
- ・世論調査の結果から設定される指標のベースライン値および目標値の検討、設定。

#### (2) 追加調査の現状報告

- ・調査票未提出の市区町村への対応に関する進捗状況の確認。

#### (3) 追加調査収集データの還元方法について

- ・基本的に昨年実施した最終評価と同様に行う。

### 【都道府県への還元内容】

- ①結果内容案内書
- ②集計結果の見方の説明
- ③データ入力方法の説明
- ④各都道府県の調査集計結果表
- ⑤各都道府県の調査対象市区町村の収集データ

#### ⑥調査集計結果の都道府県別順位グラフ

### 【市区町村への還元内容】

- ①結果内容案内書
- ②集計結果の見方の説明
- ③データ入力方法の説明
- ④各市区町村の調査集計結果表
- ⑤各市区町村の調査対象市区町村の収集データ
- ⑥調査集計結果の都道府県別順位グラフ

#### ※収集データの扱い

各都道府県から各市区町村に、市区町村データの利用について承諾を得てもらい、承諾が得られた市区町村のデータを都道府県に還元した。

### 3. 調査実施経過

「親と子の健康度調査（追加調査）」は以下の日程で実施した。

- ・平成26年4月～6月  
調査対象地方自治体の選定および調査票質問項目の検討
- ・平成26年6月 調査票印刷・発送
- ・平成26年7月～9月 調査実施
- ・平成26年8月～11月  
順次実施済み調査票を回収・入力し、集計を実施
- ・平成26年10月 結果の報告  
(検討会用集計結果確定)
- ・平成26年11月 全回収データによる集計を実施
- ・平成26年11月～12月  
協力自治体の調査結果の還元資料作成
- ・平成26年12月  
協力市区町村への結果の送付

### 4. 調査票の送付

調査票の印刷は、各市区町村からの送付希望枚数に従い、3・4か月児健診用、1歳6か月児健診用、3歳児健診用の合計枚数約8万2千枚となった。

各市区町村への送付に関しては、以下の内容を宅配便にて、各市区町村の母子保健担当者宛てに送付した。

- ①親と子の健康度調査（追加調査）アンケート（資料1-3）
- ②「健やか親子21（第2次）」のための実態調査の実施について（依頼）（資料1-4）
- ③「健やか親子21（第2次）」のための実態調査実施にあたって（資料1-5）
- ④その他（自治体コード表など）（資料1-6）

また、質問票の回収方法と研究班への返送方法に関しては、上記③の調査方法の手引き（資料1-5）を参照。

### 5. 調査結果

#### 1) 調査対象市区町村の選定結果

調査対象市区町村は、昨年度最終評価を実施した市区町村を基本とし、調査を依頼した。その結果、19市区町村が調査協力困難と回答したため、同都道府県内の同規模の市区町村から代替市区町村を選定し、最終的に各都道府県、約10市区町村、合計471市区町村を対象市区町村とした。

#### 2) 調査票の回収結果

調査対象市区町村数と回収率を表1に、対象年齢別調査票の回収率を表2・3に示す。

また、調査結果の全国集計結果は資料1-7に示す。

表1. 調査自治体数及び回収率

|       | 実施依頼<br>市区町村数 | 実施予定<br>がある<br>市区町村数 | 検討会(10/24)時点  |            | 最終            |            |
|-------|---------------|----------------------|---------------|------------|---------------|------------|
|       |               |                      | 回収あり<br>市区町村数 | 回収率<br>(%) | 回収あり<br>市区町村数 | 回収率<br>(%) |
| 3・4か月 | 471           | 365                  | 348           | 95.3       | 348           | 95.3       |
| 1歳6か月 | 471           | 441                  | 429           | 97.3       | 429           | 97.3       |
| 3歳    | 471           | 436                  | 421           | 96.6       | 422           | 96.8       |

※38道県は県庁所在地を含み、各都道府県約10市区町村

表2. 年齢別調査票の回収率(検討会時点)

|       | 配布枚数   | 回収枚数   | 回収率(%) |
|-------|--------|--------|--------|
| 3・4か月 | 16,254 | 14,094 | 86.7   |
| 1歳6か月 | 25,561 | 21,368 | 83.6   |
| 3歳    | 25,816 | 20,884 | 80.9   |
| 合計    | 67,631 | 56,346 | 83.3   |

表3. 年齢別調査票の回収率(最終)

|       | 配布枚数   | 回収枚数   | 回収率(%) |
|-------|--------|--------|--------|
| 3・4か月 | 16,269 | 14,110 | 86.7   |
| 1歳6か月 | 25,575 | 21,449 | 83.9   |
| 3歳    | 25,946 | 21,044 | 81.1   |
| 合計    | 67,790 | 56,603 | 83.5   |

#### 6. 「健やか親子21(第2次)」の指標のベースライン値および目標値の設定について

「健やか親子21(第2次)」の指標に関し、ベースライン値の設定が困難であり、更なる調査が必要、または要検討としていた指標は、基盤課題A：8指標、基盤課題B：1指標、基盤課題C：7指標、重点課題①：4指標、重点課題②：10指標であった。これらの指標のベースライン値および目標値の設定は、本研究班で実施した追加調査の他、平成26年度に実施された厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課調査、内閣府の母子保健に関する世論調査等の結果を参考にした。また、全指標の調査方法、ベースライン値、目標値等の再検討も行い、最終的に、ベースライン値および目標値が新しく設定されたもの、また、再設定された指標は、基盤課題A：15指標(5つの参考指標を含む)、基盤課題B：8指標(4つの参考指標を含む)、基盤課題C：8指標(1つの参考指標を含む)、重点課題①：4指標、重点課題②：10指標であった。その詳細については、後述の各課題の報告で述べる。

#### 7. 『「健やか親子21」最終評価・次期計画研修会～全国ブロック研修会～』の実施

当初、本研修会は6～7月に6つのブロック

で実施される予定であった。しかしながら、中部ブロックと中国・四国ブロックでは参加申し込み人数が少数であったため、他のブロックと合同で行うこととなった。実際に実施された研修会については下記の通りであった。また、本研修会で用いた資料を資料1-8に示す。

#### 【日程(実施)】

##### ・北海道・東北ブロック

日時：平成26年6月4日(水)～5日(木)

場所：東北エレクトロンホール宮城

研究班担当者：篠原 亮次(山梨大学)

##### ・関東ブロック

日時：平成26年6月19日(木)～20日(金)

場所：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会

研究担当者：山縣 然太郎(山梨大学)

##### ・近畿ブロック

日時：平成26年6月12日(木)～13日(金)

場所：エル大阪

研究班担当者：篠原 亮次(山梨大学)

##### ・九州・沖縄ブロック

日時：平成26年7月22日(火)～23日(水)

場所：博多バスターミナル

研究班担当者：松浦 賢長(福岡県立大学)

#### 【内容(実施)】

##### ＜1日目＞

講義①：「健やか親子21」の最終評価および次期計画について

講義②：「健やか親子21」について各自治体でも最終評価をしてみよう(理論編)(研究班担当)

情報提供：新たな小児慢性特定疾病対策について

##### ＜2日目＞

講義③：地域特性に応じた地域診断の進め方  
講義④：コミュニティ アズ パートナーモデルの活用

グループワーク：最終評価と地域診断を体験  
してみよう（実践編）

講義⑤：課題の優先順位の付け方

## D. 考察

本年度で「健やか親子21（第2次）」の指標は定まり、ベースライン値と目標値もほぼ設定された。しかし、まだいくつかの指標は、更なる検討が必要であると判断され、それに関しては今後公表されるデータの使用やパイロット研究にて対応していく予定である。

来年度からは、この「健やか親子21（第2次）」が新たに始まることとなる。全国のブロック研修会では、行政の母子保健担当者が熱心に研修を受けており、母子保健計画策定の一助となったことを期待する。本研究班では今後、「健やか親子21（第2次）」の更なる推進および母子保健分野のより一層の発展のために、母子保健情報の利活用の仕組みの充実と母子保健事業への新たなシステムの提供を進めていく予定である。

## E. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

- 1) 山縣然太朗. 特別講演「健やか親子21の評価と今後の取り組み」. 第61回日本母性看護学会学術集会. 2014年6月. 京都.
- 2) 山縣然太朗. シンポジウム18「次期健やか親子21を踏まえた母子保健計画の策定について」(座長): わが国の母子保健の健康格差の現状(シンポジスト). 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 3) 山縣然太朗. 基調講演「健やか親子21(第2次)が目指すもの」(シンポジウム 第I

部において). 平成26年度 健やか親子21 全国大会(母子保健家族計画全国大会). 2014年11月. 愛媛県.

- 4) 山縣然太朗, 山崎嘉久. 子どもの健康格差の実態-健やか親子21の最終評価から-. 第117回日本小児科学会. 2014年4月. 愛知県.
- 5) 山崎嘉久, 山縣然太朗. 健やか親子21の評価からみた21世紀の我が国の母子保健の現状と課題. 第117回日本小児科学会. 2014年4月. 愛知県.
- 6) 山縣然太朗, 篠原亮次, 秋山有佳. 次子出産希望は妊娠育児中の夫の支援が必要-子育て支援のための労働環境のあり方-. 第87回日本産業衛生学会. 2014年5月. 岡山県.
- 7) 秋山有佳, 篠原亮次, 市川香織, 尾島俊之, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太朗. 妊娠中の母親の喫煙状況別に見た児の出生体重平均の相違~健やか親子21最終評価の全国調査より~. 第61回日本小児保健協会学術集会. 2014年6月. 福島県.
- 8) 篠原亮次, 秋山有佳, 市川香織, 尾島俊介, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太朗. 母子保健における妊娠・出産満足尺度の作成-健やか親子21最終評価の調査データ解析-. 第61回日本小児保健協会学術集会. 2014年6月. 福島県.
- 9) 山縣然太朗, 尾島俊之. 地域診断と新しい母子保健計画の作り方を学ぼう!!~知ろう・語ろう・考えよう!“一步先行く”健やか親子21(自由集会). 第73回日本公衆衛生学会総会. 2014年11月. 栃木県.
- 10) 秋山有佳, 篠原亮次, 元木愛理, 市川香織, 尾島俊之, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久, 山縣然太朗. 妊娠・育児期の母親を取り巻く環境の都道府県格差-健やか親子21デ

一タから-。第 73 回日本公衆衛生学会総会。  
2014 年 11 月。栃木県。

- 11) 元木愛理, 篠原亮次, 秋山有佳, 市川香織,  
尾島俊之, 玉腰浩司, 松浦賢長, 山崎嘉久,  
山縣然太朗。妊娠・育児期の母親を取り巻く  
環境の人口規模別比較-健やか親子 21 デ  
ータから-。第 73 回日本公衆衛生学会総会。  
2014 年 11 月。栃木県。
- 12) 山縣然太朗。健やか親子 21 の最終評価か  
らみた徳島県の母子保健について。平成 26  
年度第 1 回母子保健研修会 (徳島県)。2014  
年 6 月。徳島県。
- 13) 山縣然太朗。健やか親子 21 の最終評価か  
らみた徳島県の母子保健について。平成 26  
年度 医療費適正化に向けた研修会 I。2014  
年 7 月。三重県。
- 14) 山縣然太朗。自治体で“どう取り組む?”  
「健やか親子 21」の最終評価と次期計画  
の策定の実際の進め方について。「健やか親  
子 21 (第 2 次)」計画づくり研修。2014  
年 9 月。国立保健医療科学院 (埼玉県和光  
市)。
- 15) 山縣然太朗。「健やか親子 21 との連携」  
の進め方 (セッション 2)。「健康日本 21  
(第二次) の推進」に関する実践マニユア  
ル研修会。2014 年 12 月。東京都。

#### F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

|                     |                               |              |
|---------------------|-------------------------------|--------------|
| 基盤課題A・B・C、重点課題①②:〇〇 |                               |              |
| 指標番号:〇              | 指標の種類:健康水準の指標・健康行動の指標・環境整備の指標 |              |
| 指標名:〇〇              |                               |              |
| ベースライン              | 中間評価(5年後)目標                   | 最終評価(10年後)目標 |
|                     |                               |              |
| 調査方法                |                               |              |
| 調査名                 |                               |              |
| 算出<br>方法            |                               |              |
| 目標設定の考え方            |                               |              |
|                     |                               |              |



～全国ブロック研修会～

## 「健やか親子21」最終評価・次期計画研修会

- ✓ 「健やか親子21」の最終評価の基本的な考え方や次期計画の進め方についてわかります！
- ✓ 演習を通して、地域診断を体験し、手順を実践してみます！
- ✓ 優先課題の抽出、整理方法のポイントがつかめます！



**対象者** 「健やか親子21」計画づくりに従事する都道府県、保健所、市町村の事務職や保健師等 各ブロック80名



**日程と会場はこちら**

|              |                      |                 |
|--------------|----------------------|-----------------|
| [北海道・東北ブロック] | 平成26年6月 4日(水)～ 5日(木) | 東北エレクトロンホール宮城   |
| [関東東ブロック]    | 平成26年6月19日(木)～20日(金) | 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 |
| [中部ブロック]     | 平成26年7月 8日(火)～ 9日(水) | 名古屋国際センター       |
| [近畿ブロック]     | 平成26年6月12日(木)～13日(金) | エル大阪            |
| [中国・四国ブロック]  | 平成26年6月26日(木)～27日(金) | 岡山コンベンションセンター   |
| [九州・沖縄ブロック]  | 平成26年7月22日(火)～23日(水) | 博多バスターミナル       |

|             | 時間          | 主な講義内容                                   |
|-------------|-------------|--|
| 1<br>日<br>目 | 10:00～12:00 | [講義①] 「健やか親子21」の最終評価及び次期計画について           |
|             | 13:00～16:00 | [講義②] 「健やか親子21」について各自治体でも最終評価をしてみよう（理論編） |
|             | 16:00～17:00 | [情報提供] 新たな小児慢性特定疾病対策について                 |
| 2<br>日<br>目 | 10:30～12:00 | [講義③] 地域特性に応じた地域診断の進め方                   |
|             | 13:00～13:30 | [講義④] コミュニティ アズ パートナーモデルの活用              |
|             | 13:30～15:50 | [グループワーク] 最終評価と地域診断を体験してみよう（実践編）         |
|             | 15:50～16:40 | [講義⑤] 課題の優先順位の付け方                        |



**主な講師陣紹介**

- [講義②]
- 山縣然太郎先生（山梨大学大学院教授）
  - 山崎嘉久先生（あいち小児保健医療総合センター保健センター長）
  - 尾島俊之先生（浜松医科大学教授）
  - 松浦賢長先生（福岡県立大学教授）
  - 篠原亮次先生（山梨大学大学院講師）
- [講義③～⑤&グループワーク]
- 島田美喜先生・安藤美里先生（ヘルスプロモーション研究センター）

～研修会の詳細情報、  
申込等のお問い合わせは  
下記ホームページまで～

[問合せ先]  
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会  
総合母子保健センター研修部  
〒106-8580  
東京都港区南麻布5-6-8  
電話：03-3473-8335  
URL：  
<http://www.boshiaiikukai.jp/>



全国ブロック研修会1～6「健やか親子21」最終評価・次期計画について 受講要領

|         |   |
|---------|---|
| 1. 目的   | <p>21世紀の母子保健の取り組みの方向性と目標を示した「健やか親子21」は、平成13年から約10年に及ぶ国民運動計画として、関係機関・団体が一体となって取り組んできました。平成25年度に最終評価が行われ、目標達成した項目、また今後さらなる改善が必要な項目等が新たに整理されたところです。</p> <p>そこで、平成27年度以降の次期計画に反映させるため、本研修では「健やか親子21」の最終評価について理解するとともに、母子保健に関する課題等を含めた地域診断の方法について学び、今後、自治体において優先課題を抽出・整理し、計画立案に生かすための演習を実施します。</p>   |
| 2. 目標   | <p>1) 厚生労働省から出された「健やか親子21」の最終評価及び次期計画に関する概要を理解する。</p> <p>2) 「健やか親子21」及び母子保健に関する地域診断の意義と必要性を理解する。</p> <p>3) 母子保健に関する地域診断から、優先課題等の決定手順を理解する。</p>  |
| 3. 対象者  | <p>都道府県、保健所、市町村の職員</p> <p>「健やか親子21」計画づくりに従事する事務職や保健師等 各ブロック80名</p>  |
| 4. 対象県  | <p>1. 北海道・東北ブロック<br/>北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県</p> <p>2. 関東ブロック<br/>茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県</p> <p>3. 中部ブロック<br/>新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県</p> <p>4. 近畿ブロック<br/>京都府・大阪府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県・三重県</p> <p>5. 中国・四国ブロック<br/>鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県</p> <p>6. 九州・沖縄ブロック<br/>福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県</p> <p>*該当ブロックの研修日程での都合が悪い場合は、他のブロックでの受講が可能です。</p> |
| 5. 研修日程 | <p>1. 北海道・東北ブロック 平成26年6月4日(水)～5日(木)</p> <p>2. 関東ブロック 平成26年6月19日(木)～20日(金)</p> <p>3. 中部ブロック 平成26年7月8日(火)～9日(水)</p> <p>4. 近畿ブロック 平成26年6月12日(木)～13日(金)</p> <p>5. 中国・四国ブロック 平成26年6月26日(木)～27日(金)</p> <p>6. 九州・沖縄ブロック 平成26年7月22日(火)～23日(水)</p>   |
| 6. 会場   | <p>1. 北海道・東北ブロック【開催場所：宮城県仙台市】<br/>東北エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）602会議室<br/>&lt;住所&gt;〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目3番7号 &lt;電話&gt;022(225)8641<br/>&lt;最寄駅&gt;JR仙台駅 → 市営地下鉄 勾当台公園駅 徒歩300m</p> <p>2. 関東ブロック【開催場所：東京都港区】<br/>社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 研修室<br/>&lt;住所&gt;〒106-8580 東京都港区南麻布5丁目6番8号 &lt;電話&gt; 03(3473)8335</p>  |

|                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | <p>&lt;最寄駅&gt;東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩8分</p> <p><b>3. 中部ブロック【開催場所：愛知県名古屋市】</b><br/>名古屋国際センター5階第一会議室</p> <p>&lt;住所&gt;〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1丁目47番1号&lt;電話&gt;052-581-5679</p> <p>&lt;最寄駅&gt;JR名古屋駅 → 市営地下鉄 国際センター駅 直結</p> <p><b>4. 近畿ブロック【開催場所：大阪府大阪市】</b><br/>エル大阪（大阪府立労働センター）</p> <p>&lt;住所&gt;〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東3-14&lt;電話&gt;06-6942-1933</p> <p>&lt;最寄駅&gt;JR新大阪駅 → 淀屋橋経由 → 京阪本線 天満橋駅 徒歩300m</p> <p><b>5. 中国・四国ブロック【開催場所：岡山県岡山市】</b><br/>岡山コンベンションセンター</p> <p>&lt;住所&gt;〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町14番1号&lt;電話&gt;086-214-1000</p> <p>&lt;最寄駅&gt;JR岡山駅 徒歩3分</p> <p><b>6. 九州・沖縄ブロック【開催場所：福岡県福岡市】</b><br/>博多バスターミナル</p> <p>&lt;住所&gt;〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1 博多バスターミナル9F</p> <p>&lt;電話&gt;092-474-5280 &lt;最寄駅&gt;JR博多駅 徒歩1分</p>   |
| <p><b>7. 申込方法</b></p> | <p>1) 「受講者推薦・受講申込書」(別紙様式1)に必要な事項を記入し本会研修部あてに郵送してください。</p> <p>2) 申込みは、4月14日(月)から受け付けます。</p> <p>3) <u>研修毎に申込締切日(下記参照)が異なりますので、申込期間内にお申込みください。</u><br/>       申込締切日：1. 北海道・東北ブロック 平成26年5月7日(水)<br/>                         2. 関東ブロック                  平成26年5月19日(月)<br/>                         3. 中部ブロック                  平成26年6月9日(月)<br/>                         4. 近畿ブロック                  平成26年5月12日(月)<br/>                         5. 中国・四国ブロック          平成26年5月26日(月)<br/>                         6. 九州・沖縄ブロック          平成26年6月16日(月)</p> <p style="text-align: center;">*定員に満たない際は、申込期間終了後も受け付けますのでご連絡ください。</p> <p>4) 研修の申込みは郵送でお願い致します。本会に郵便が到着した時点で、先着順に受付とさせていただきます。FAX・E-mailでの申込みは受付けておりませんのでご注意ください。</p> <p>5) 研修申込書は本冊子(P.14)またはホームページからダウンロードできます。</p> <p>6) 申込みは、所属長の推薦、本人の申込み、どちらでも結構です。</p> |
| <p><b>8. 受講決定</b></p> | <p>1) 受講の可否については、締切日以降1週間以内に、受講が可能の方に受講決定通知書を送付します。</p> <p>2) 締切日前に定員に達した場合は、締切日を待たずに受付終了とさせていただきますので、ご了承ください。</p>   |
| <p><b>9. 受講料</b></p>  | <p>20,000円(詳細は受講決定通知をご覧ください)</p> <p>1) 受講決定通知書記載の振り込み日(研修開始10日前)までに必ずお振り込みください。振込手数料はご負担ください。</p> <p>2) 受講をキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。<u>振り込み日以降の受講キャンセルについては、受講料を返金いたしませんので、予めご了承ください。</u></p> <p>3) 領収書は、研修初日に受付でお渡しします。</p>  |

## 10. 研修内容

| 月日          | 時間                                 | 内容   | 概要   |
|-------------|------------------------------------|--|--|
| 一<br>日<br>目 | 9:30～                              | 受付・オリエンテーション   |  |
|             | 10:00～12:00                        | 講義:「健やか親子21」の最終評価及び次期計画について  | 「健やか親子21」の最終評価及び次期計画の策定にあたる基本的な考え方、今後の計画等の進め方について紹介します。<br>担当:厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課   |
|             | 13:00～16:00                        | 講義:「健やか親子21」について各自治体でも最終評価をしてみよう(理論編)  | 自治体における最終評価の進め方及び母子保健等に関するデータを活用した自治体における健康格差等を把握していくためのプロセスやポイント、留意点について具体例も交えて情報提供します。   |
|             | *各ブロック毎に講義担当は異なります。<br>担当:山縣班分担研究者 | 1. 北海道・東北ブロック<br>担当:篠原 亮次 (山梨大学大学院医学工学総合研究部出生コホート研究センター講師)<br>2. 関東ブロック<br>担当:山縣 然太朗 (山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座教授)<br>3. 中部ブロック<br>担当:尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学教授)<br>4. 近畿ブロック<br>担当:篠原 亮次 (山梨大学大学院医学工学総合研究部出生コホート研究センター講師)<br>5. 中国・四国ブロック<br>担当:山崎 嘉久 (あいち小児保健医療総合センター保健センター長)<br>6. 九州ブロック<br>担当:松浦 賢長 (福岡県立大学看護学部学校保健領域教授) |  |
|             | 16:00～17:00                        | 講義:新たな小児慢性特定疾病対策について   | 新たな小児慢性特定疾病対策の制度の内容について情報提供します。<br>担当:厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課   |
| 二<br>日<br>目 | 9:20～9:30                          | 受付   |  |
|             | 9:30～10:15                         | グループワーク:自己紹介   | 事務局で事前に設定したグループに分かれて自己紹介を行います。   |
|             | 10:30～12:00                        | 講義:地域特性に応じた地域診断のすすめ方<br>1. 地域診断の意義<br>2. 地域診断の対象、時期、体制<br>3. 地域診断のすすめ方<br>4. 地域診断の実践例  | ・自治体における地域診断の意義や地域診断のすすめ方について、実践例を交えて紹介します。<br>・特に母子保健に関する情報を幅広く収集するためのポイントについて解説します。  |
|             | 13:00～13:30                        | 講義:コミュニティ アズ パートナーモデルの活用   | ・実践に活用できる情報収集のツールについて解説します。  |
|             | 13:30～15:00                        | グループワーク:最終評価と地域診断について体験してみよう(実践編)  | グループごとに1つの課題について地域診断を実施するための手順を実践します。<br>・課題について必要な情報を挙げる<br>・グループで情報を共有し、検討する<br>・他のグループと情報交換する<br>・収集した情報を具体的に<br>・収集した情報の意味するところを検討する |
|             | 15:00～15:20                        | 休憩   |  |
|             | 15:20～15:50                        | 成果発表   |  |
|             | 15:50～16:40                        | 講義:課題の優先順位の付け方   | 地域診断にもとづいた対策・評価について解説します。  |
| 16:40～17:00 | アンケート記入・研修終了                       |  |  |

\*二日目の研修講義・助言担当は、

島田 美喜 (ヘルスプロモーション研究センター副センター長)

安藤 実里 (ヘルスプロモーション研究センター研究員:保健師) をお願いしています。

## 親と子の健康度調査（追加調査）アンケートのお願い

厚生労働科学研究費補助金（健やか次世代育成総合研究事業）

研究代表者 山縣然太朗（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める国民運動計画として、厚生労働省の検討会により「健やか親子21」が策定されて14年目を迎え、平成26年が計画の最終年となります。昨年度は最終評価を行い、策定以降の子どもと親の心身の健康状態の変化を明らかにしました。これらの結果を踏まえ、来年度からは次期計画として「健やか親子21（第2次）」が開始されます。すべての子どもが健やかに育つ社会を目指し計画された「健やか親子21（第2次）」の開始に先立ち、本年度は基礎調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、3か月児健診または4か月児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

調査期間：平成26年7月～8月

### 問1 お子さんの月齢

1. 2か月    2. 3か月    3. 4か月    4. その他（            ）か月

### 問2 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子    2. 第2子    3. 第3子    4. 第4子以降（            ）

### 問3 お子さんの性別            男 ・ 女

### 問4 出産された時のお子さんのお母さんの年齢

1. ～19歳    2. 20～24歳    3. 25～29歳    4. 30～34歳  
5. 35～39歳    6. 40歳～

### 問5 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください。

（母子健康手帳でご確認ください）

妊娠期間 \_\_\_\_\_ 週            体重 \_\_\_\_\_ g

### 問6 あなたのお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親    2. 父親    3. 祖父母    4. その他

### 問7 お子さんのかかりつけの医師はいますか。

1. はい    2. いいえ    3. 何ともいえない

### 問8 小児救急電話相談（#8000）を知っていますか。

1. はい    2. いいえ

裏面へ続く⇒